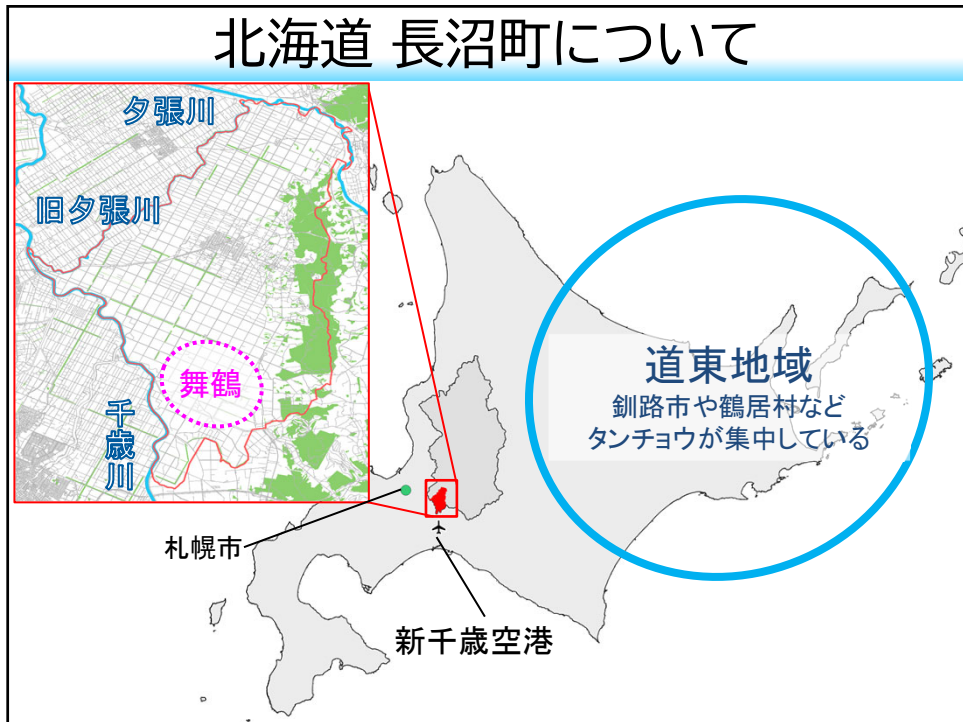




1



2

舞鶴遊水地



3

長沼町の水害の歴史

昭和40年ごろ



4

長沼町の水害の歴史



1981年(昭和56年)8月
記録的集中豪雨と台風15号

住家 1019世帯
田畑 6,760ヘクタール
被害総額 67億1,672万円

5

舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会



- 2014年5月13日 設立
- 現在の会員数 約70名
- 設立当初の主なメンバーは、町内の農家

6

先進地の視察・他地域との交流

兵庫県豊岡市

コウノトリと共に生きるまちづくり



新潟県佐渡市

朱鷺と暮らす郷



北海道むかわ町



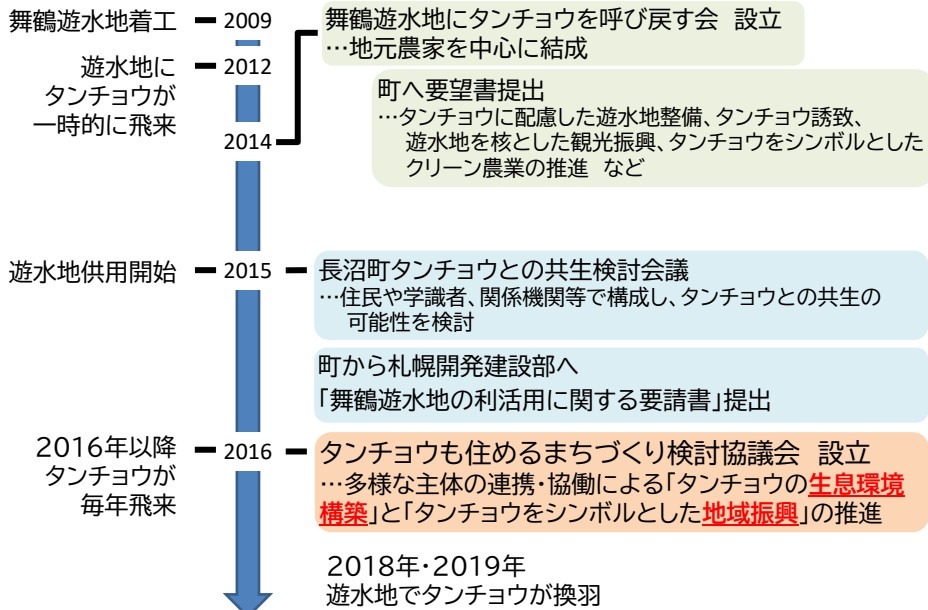
徳島県鳴門市



7



タンチョウも住めるまちづくり



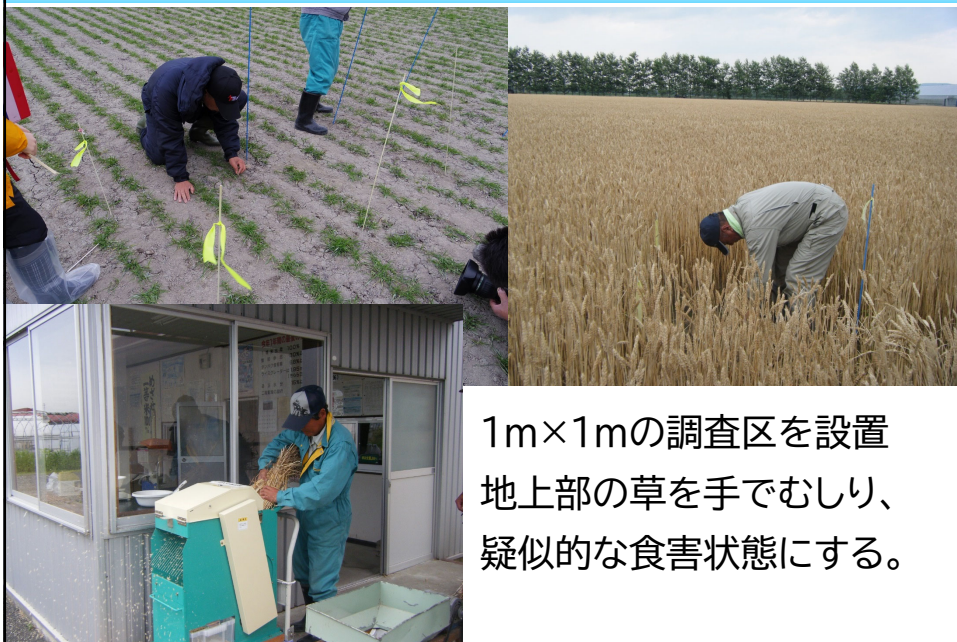
8

長沼町タンチョウとの共生検討会議



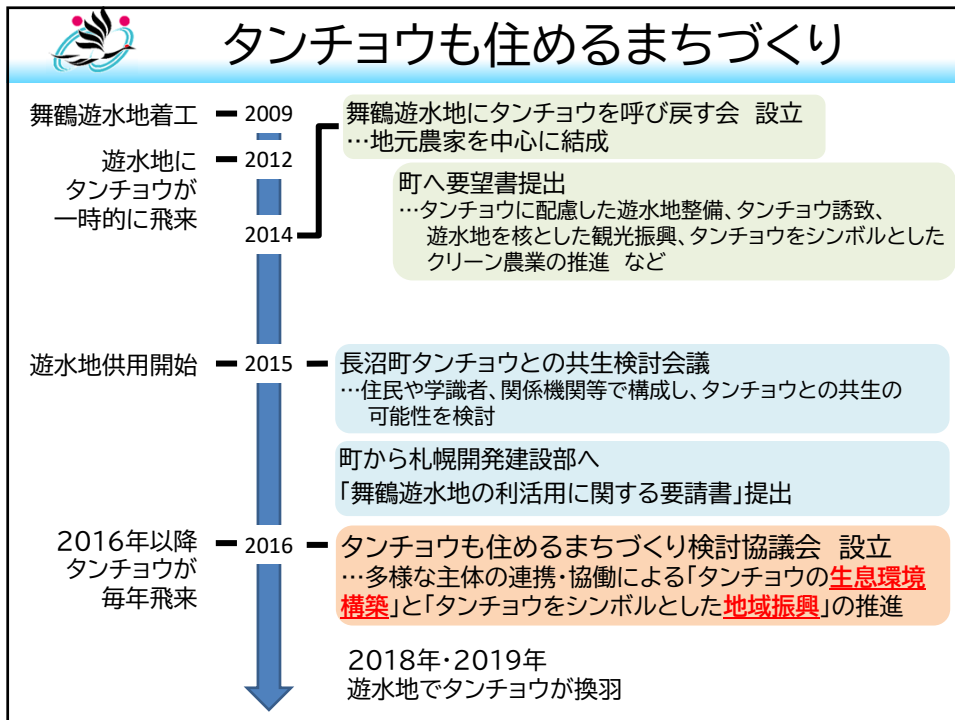
9

食害影響調査



1m×1mの調査区を設置
地上部の草を手でむしり、
疑似的な食害状態にする。

10



11



12

人とタンチョウ

人がタンチョウに接近。
この後、警戒したタンチョウは飛び去る。
(2016年9月)



13

タンチョウに住み続けてもらうために

人によって、警戒したタンチョウが飛び立つ



タンチョウが「舞鶴遊水地は、危険な場所」と判断して、やってこなくなる可能性がある。



見守り活動によって、取組や
タンチョウの観察の方法を知ってもらう

14

タンチョウ見守り活動

舞鶴遊水地での見守り活動

タンチョウ見守り中



タンチョウも住めるまちづくり

舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会

タンチョウ見守り中

“やさしい声かけによる仲間づくり”
“皆で見守る雰囲気づくり”

15

北海道テレビ放送による見守り活動の報道

出動！

タンチョウ見守り隊

©北海道テレビ放送

16

長沼タンチョウ見守り隊の結成



- 舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会の内部組織として結成
- 町内外から約30名の方が参加
- 隊員個人のペースで活動し、年2回の会合で情報共有



会合の様子



イオン黄色いレシートキャンペーン

17

見守り活動



ナベヅルを一目見ようとカメラマンが集まってしまった

18

長年の活動が映画に



©北海道テレビ放送

21

これからもタンチョウと共に

環境学習イベント



バスツアー



市民ガイドの
解説



タンチョウ商品

I LOVE
タンチョウ
長沼町 2025

小学校と企業との連携に
よるスノーアート

22